

奉仕団体「キワニス」設立協力を

次期ガバナー

藤原氏が要請

愛媛新聞社訪問

民間国際奉仕団体「国際キワニス」の日本地区のトップであるガバナーに就任予定の藤原武平太氏(75)が今治市出身が20日、松山市大手町1丁目の愛媛新聞社を訪れ、「愛媛はキワニスの空白区。まず松山市でクラブを立ち上げたい」と

協力を求めた。

国際キワニスは、1915年に米国で創設され、ロータリークラブやライオンズクラブと並ぶ奉仕団体の一つ。日本では3月時点で33クラブ・会員約1940人。人形を作って病気の子どもに贈る活動や、児童虐待防止活動、東日本大震災被災者支援、家庭の事情な

どで1人で食事を食べざるを得ない子どもを招く昼食会といった活動に取り組んでいる。

藤原氏は通産省通商政策局次長や駐ブルガリア大使などを歴任。ガバナーに10月から1年間就任予定で、19、20日に来県し、県や松山市、金融機関などを訪問してクラブ設立を要請した。藤原氏は「15人集まるとクラブができる。四国では高松市にしかなく、愛媛や

徳島などで新設したい。思いやりがあり、子どもを大切にする愛媛はキワニスの精神に合っている」と語った。

(丸岡裕美)



愛媛で新クラブを設立したいと話す国際キワニス日本地区次期ガバナーの藤原武平太氏＝20日午後、松山市大手町1丁目